



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2014.1.16 No.141

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

1月21日(火)より「区民等の意見提出手続き(パブリックコメント)」開始 杉並区立施設再編整備計画(案)示される

計画(素案)から(案)へ移行 大きな変更点無く区民サービス削減へ

杉並区立施設再編整備計画(案)が区議会に示されました。一月十七日に行なわれる全員協議会の場で、全議員に説明が行なわれます。

この間、計画(素案)については、多くの区民から懸念の声が寄せられていましたが、大きな変更点はないまま、計画(案)へ格上げされました。一月二十一日より、一カ月間のパブリックコメントが行なわれ、計画化されます。

施設利用者や現場職員の声を計画(案)に反映させない区行政の姿勢は大きな問題です。

住民説明会軽視の発言の一方:

今回示された計画(案)についても改めて住民説明会が行なわれます(詳細左記)。

この間の住民説明会に対して、区長は「利害関係者が多く参加し、政治的な思惑を持った住民が動員される」旨の発言をしました。

説明会のお知らせ 施設再編整備計画(案)

区立施設の再編整備について、区ではこれまでに頂いた区民の皆様のご意見を踏まえ、この度「杉並区立施設再編整備計画(案)」(1月21日公表予定)についての説明会を実施します。

第1回	日時 平成26年1月21日(火) 午後7時	場所 高井戸地域区民センター(高井戸東 3-7-5)	定員 70名
第2回	日時 平成26年1月23日(木) 午後7時	場所 井草地域区民センター(下井草 5-7-22)	定員 70名
第3回	日時 平成26年1月25日(土) 午後2時	場所 杉並区役所(阿佐谷南1-15-1)	定員 100名
第4回	日時 平成26年1月29日(水) 午後7時	場所 旧若杉小学校(天沼 3-15-20)	定員 100名
第5回	日時 平成26年1月30日(木) 午後2時	場所 セッション杉並(梅里 1-22-32)	定員 120名

※各回とも同じ内容です。

直接会場にお越し下さい(定員を超えた場合はお席をご用意できないことがあります)

※託児を受け付けます ※お車、おむすび以上から送迎まで ※費用、無料 ※申込：電話で、希望日の前日までに企画課施設再編・整備担当へ

※お車での送迎はご注意ください
※福祉は、要確認となります。

杉並区政策経営部企画課施設再編・整備担当
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
TEL.03-3312-2111(代表)

施設再編整備計画(案)の住民説明会の日程

パブリックコメントにご意見を!

区立施設再編整備計画(案)についての「区民等の意見提出手続き(パブリックコメント)」が行なわれます。ぜひ、みなさんのご意見をお寄せください。

■期間
1月21日(火)～2月20日(木)

■詳細・方法
広報すぎなみ(1月21日付)に掲載予定。
杉並区ホームページでもご覧になれます。

□3月初旬「区民等の意見提出手続き」の結果を区議会に報告予定

自治体首長が住民説明会を軽視し、住民の声を歪める重大な問題発言であり、区長の政治責任が厳しく問われます。

人口減少のまやかし: 将来人口推計の使い分けも

区行政は区立施設廃止の理由として「少子高齢化」による人口減少を挙げています。「人口減少により税収が減るため、区立施設を維持・管理出来ない」と度々、説明してきました。

しかし、その根拠となる将来人口推計のデータが、都合良く使い分けられていることも明らかになっています。データの種別により、高齢者人口が大幅に変動し、人口減少の規模も大きく異なる状況です。特に特別区(二十三区)などの都市部の場合、人口減少の幅も大きく異なります。作弄的なデータの使い分けは、直ちに改めるべきです。

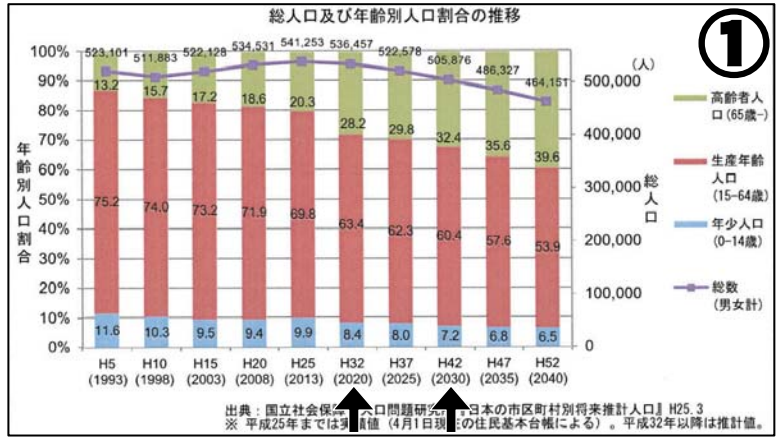
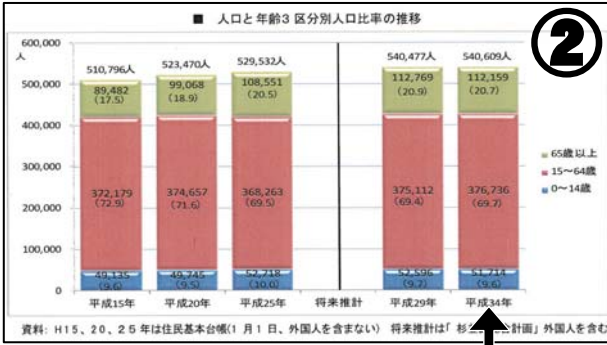
人口推計については裏面

大きく異なる高齢者人口・人口減少数…

将来人口推計のデータ使い分けの実態とは？

杉並区住宅マスタープランH26～33年度(案)
で示される将来人口推計

区立施設再編整備計画で示される将来人口推計



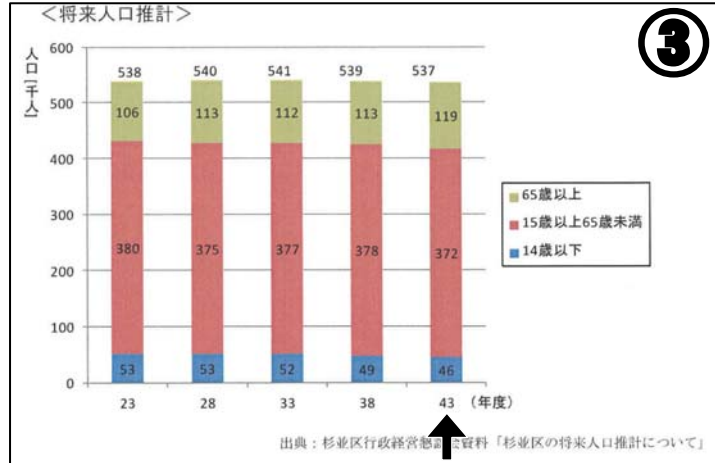
区行政が使い分けている将来人口推計のデータを紹介します。詳細なデータはホームページをご覧ください。

- ①データでは、総人口に占める高齢者人口割合は**28.2%**となる。しかし…
- ②データでは、総人口に占める高齢者人口割合は**20.7%**となる。
- ③データでは、人口もほぼ横ばいとして示される。

高齢者人口の増加が極端に多く、人口減少の幅も大きい人口推計データ。少子高齢化を示す資料として区立施設再編整備計画の根拠とされる。各データの比較は、年度が近く比較しやすい
①H32年(2020年)と②H34年(2022年)
①H42年(2030年)と③H43年(2031年)を比較対象(「↑」の個所)とする。

なぜ、将来人口推計が大きく異なるのか？

①の人口推計データは「国立社会保障・人口問題研究所」の推計値であり、日本全国の人口動向を各自治体に当てはめたものです。
②③のデータは区が独自に最新のトレンドを加味した推計値であり、国立社会保障・人口問題研究所より、詳しい推計となっています。
杉並区でも基本構想、総合計画などの最上位の行政方針には、区独自の人口推計データを使用しています。
計画内容により、作為的にデータの使い分けを行なうことは重大な問題です。



杉並区環境基本計画H25年11月

育メン日誌



息子とタヌキ
最近、実家の家族揃って食事をする機会が増えました。ある日、家族で話題になったのは、二人が戯れるのを見て「**キツネとタヌキみたいだね…**」とのこと。妙に納得…(苦笑)。従兄弟同士、とても仲良しな二人です。

息子はタヌキの方ですかね。

- ①データでは、総人口に占める高齢者人口割合は**32.4%**となる。しかし…
- ③データでは、総人口に占める高齢者人口割合は**22.1%**となる。
- 総人口数についても
①データでは、**505800人**に対し、
③データでは、**537000人**となる。
- ③データでは**極端な人口減少は発生しない。**



杉並区行政経営懇談会に提出された資料も数値が大きく異なるデータとなっている。